

2025年8月25日発行

地域生活サポートセンターぴぽっと南光台

VOL.0042

第42号 ぴぽっと

南光台通信



発 行: 社会福祉法人つどいの家地域生活サポートセンター「ぴぽっと南光台」
責任者: 三浦 郁美 (管理者)
住 所: 981-8003 仙台市泉区南光台 3 丁目 1-24
連絡先: TEL 022-779-7341 FAX 022-779-7342



管理者コラム

今年は「昭和 100 年」ということで、テレビや雑誌などでは当時の出来事や流行が取り上げられ、昭和生まれの方にとっては懐かしさを感じる場面も多いのではないのでしょうか。

昭和は 1926 年に始まり、戦争や復興、高度経済成長を経て、暮らしの中にはテレビや冷蔵庫などの家電製品が普及し、生活スタイルが大きく変化していきました。当時の人たちの努力や工夫、試行錯誤の積み重ねがあったからこそ、今の便利な生活があるのだと改めて実感します。

しょうがいのある方々の暮らしや支援の制度も、この 100 年の間に変化しています。昔はしょうがいのある方が地域の中で暮らすことは非常に難しく、制度やサービスも整っておらず、家族がすべてを担うのが常識とされていた時代がありましたが、今ではホームヘルパー、相談支援事業所、グループホームなど暮らしを支えるさまざまな福祉サービスが増え、選択肢の幅も広がっています。こうした制度や仕組みも、数えきれないほど多くの人たちが時間をかけ、少しずつ築き上げてきたものです。その努力と歴史の積み重ねの上に、私たちの今の活動があるのだということを、これからも大切にしていきたいと思います。

管理者 三浦郁美

非常勤研修報告

令和 7 年度非常勤研修に参加してまいりました。午前中は利用者様の対応(アセスメントとサポートの実行がマッチした内容)についての興味深い講演、午後は山形からの盛り上げ隊によるトークと疑似体験などで笑いと実習の冷や汗で、会場は熱気がムンムン。終始メリハリのある内容で濃い時間を働く者同士で共有出来た事はとても良かったです！

次回も、仕事に【活！！】となる様な研修を是非期待したいと思います。

すてっぴ・はうす介護人 家坂



今回の非常勤研修の中で一番考えさせられたのは、午前中の講話の中にあつた「声掛けが多すぎるのも問題」という点でした。

普段、利用者さんの様子や行動等を観察しながらコミュニケーションも含めて声掛けを意識していますが、過度な声掛けは利用者さん自身の考える力や何かを伝えたい想いを止めてしまう事になり、こちらにもこまめに声掛けをしていることで「支援している気になっている」と。

改めて利用者さんの主体性や意思の尊重が出来ているかどうか、声を掛けすぎて利用者さんの思考や伝えたいことを止めてしまっていないか、基本に立ち返るきっかけになりました。

ぺんたす登録ヘルパー 佐々木



ぴぼっとしゃしん



仙台市短期入所事業所等連絡協議会 座談会報告



7月10日(木)に、仙台市短期入所事業所等連絡協議会が主催する座談会に参加してきました。当日はワールドカフェ方式のグループワークを行ないました。

「支援をしていて嬉しかった・楽しかったことは?」「利用中の利用者の過ごし方は?」「あなたのやる気スイッチは?」という3つのテーマがあり、グループを変えながら他事業所の方とそれぞれのテーマについて話し合いました。

テーマ1では、「利用者さんが自分の名前を呼んでくれた」「自分の作った食事を『おいしい』と言いながら食べてくれた」等の意見が出ました。テーマ2では、「それぞれが居室で、DVDを見たりCDを聞いたりして過ごしている。」「トランプやオセロ等で遊んで過ごしている」「職員の仕事を一緒に手伝ってくれている(洗濯物を一緒にたたむ)」等の意見が出ました。テーマ3では、「好きな音楽を聴いてから仕事にのぞむ」「休憩時間に同僚と話をする」等の意見がでました。

他事業所の職員さんとは、なかなか仕事以外の話をする機会がなかったので、様々な意見を聞きながら楽しくグループワークをすることができました。今回は研修会に参加させていただき、ありがとうございました。

すてっぴ・はうす 渡部

すてっぴ・はうす介護人連絡会ご報告～「知る」ということ



6月27日、介護人連絡会を開催しました。和気あいあいとした雰囲気の中、運転時の危険予測トレーニングや熱中症対策などについて共有し、今回新たな取り組みとして、事例をもとに支援について話し合ってみました。積み重ねてきた利用者さんとの関わりや人生経験により、ひとりずつそれぞれ違った観点からのお話しには新たな発見があり、とても有意義な話し合いになりました。

すてっぴ・はうすは、利用者さんとほとんどの時間をマンツーマンで過ごせるという良いところがありますが、サービスの特性上、利用者さんが普段通われている通所施設とは違い、月に1回の宿泊や日中のご利用、一日数時間のご利用など、一緒に過ごすことができるのは、限られた時間になってしまいます。マンツーマンで過ごしているうちに、考えがひとつに固まったり、自分だけでは気付けなかったりすることがあるかもしれません。なので、一緒に支援をしているチームとして、自分が気付いたことや、「こんなとき、どうする？」と疑問に思ったことなどを次の利用で一緒に過ごす支援者に伝えていく、リレー方式で繋いでいく、ということが大切だと改めて共有することができました。



そして、意外にもとても盛り上がったのは、自己紹介でした。何年も一緒にお仕事をしている仲間同士でも、改めて『知る』ということはとても新鮮で、発見も多くあったようです。利用者さんの支援でも、『知る』ということはとても大切なことだと思っています。



「支援の9割は準備で決まる」と、よく言われています。お部屋をきれいにしておくこと、エアコンや空気清浄機のスイッチを入れること、お茶を用意しておくこと…準備と一言で表してもたくさんありますが、『利用者さんを知る』ことも大切な準備のひとつ。

利用者さんのことを知り、そして支援をする私たちのことも知ってもらい、お互いに知り合うことができれば、すてっぴ・はうすでも、安心しておうちのようにリラックスしながら過ごすことができる！そんな場所になったらとてもうれしいな💡と思いを馳せ、今日はみなさんのどんな一面を知ることができるかな？とわくわくしながら、この記事を書いています。

すてっぴ・はうす 榊原



きょうだい支援

BRIDGE (ブリッジ)



6月28日にきょうだい会を行いました。

ガムシロップ入りの特製シャボン玉液をつくり、オリジナルの道具を作成。外に出て、シャボン玉飛ばしをしました。後半は室内でおやつタイムをしながら、きょうだいさんが、なぞなぞを出題してくれました。最後は総勢8人でババ抜き！なかなか揃わず、ババがぐるぐる回り大盛り上がりでした。



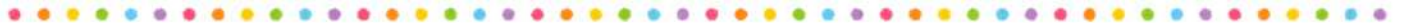
7月6日には大阪のNPO法人しぶたねさんのお二人をお招きして、スキルアップ研修を行いました。

きょうだいさんが安心して楽しく参加できる会の工夫やアクティビティ、きょうだいさんの気持ちに寄り添った関わりについて、学ばせていただきました。 事務 山口



今後もきょうだい会や親子参加イベント、研修会などを開催予定です。興味のある方は法人ホームページ内のサイトをご覧ください。

※病気やしょうがいのある方の兄弟姉妹をきょうだいと表しています。



職員随想 すてっぴ・はうす 高橋 和也

参政党の神谷さんが彗星のように現れ、議席数を増やしています。党の主張や受け取り方は人それぞれだと思いますが、物怖じせずにズバッと発言する姿勢は見ていて気持ちがいいなと感じました。あくまで個人の感想です。

さて、私は子どもが生まれ親子三人で生活していく中で、自分が小さかった頃はどうかたかを振り返る機会が多々あります。野菜嫌いだった私に野菜を食べさせる為、父が大人の箸で私に食べさせてくれた時の箸の感触は今でも鮮明に覚えていて、とても不快だった記憶があります。滑り台のてっぺんから地面に落ちた時、地面が近づく瞬間や落下していく勢いも覚えています。友達のおばあちゃんに大きな水鉄砲を買ってもらった時、詳細を両親に報告すると怒られると思った私はこの水鉄砲は家の砂場から出てきた！と言い張り、さらにひどく叱られてしまいました。



本当にしょうもない記憶なのですが、どれもそれらが全て教訓になっていると感じています。好き嫌いはない方が食事が楽しいし、ルールは守った方が安全だし、嘘はつかない方がいい！

自分はいったいこれから我が子にどんな経験をさせてあげられるかな。家族でたくさんの思い出を作って、大人になった息子と酒でも飲みながら馬鹿な話をしたいなと思った今日この頃です。





ウォーキング清掃



6/25（水）のお昼ごろ。ぴぼっと南光台の職員たちで施設周辺を歩いて回り、ゴミ拾いを行いました。暑い中でしたが、歩きながら気分をリフレッシュさせ、和気あいあいとした雰囲気で行活動することができました。

ぺんたす 大沼



南光川清掃



6/8、南光川清掃に参加してきました！
がっばがっばと長靴を履いて現地に向かうと、朝早くからたくさんの地域の方が集まっていました！ 二手に分かれて、川の清掃と歩道の草取り！ 地域で暮らす人のつながりで、きれいな街が保たれているなあと思いました！

すてっぷ・はうす 横山



予告 去年の3丁目市～秋のぱん・ふえす～に次ぐイベント
を11月に開催予定です！

乞うご期待！！

編集後記

夏の野菜と言えば・・・とうもろこしですよ。間違いました。とうもろこしです。ジブリの見過ぎで正しい名前がわからなくなりました。今までこがねさんと呼んでいた人がこがねいさんだと昨日知りました。名前を間違えるのは失礼なことですね。また一歩大人の階段を登りました。 ぺんたす 小原